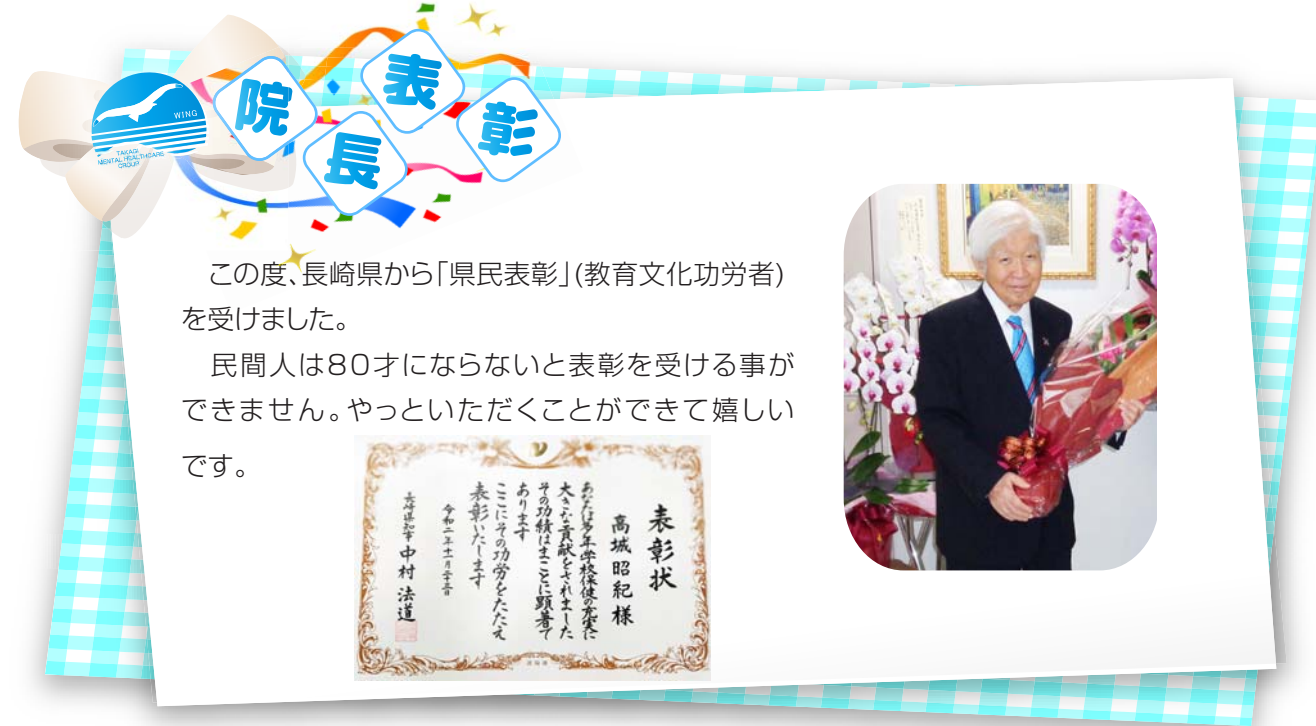


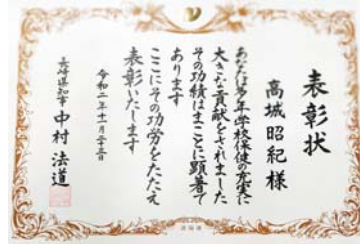
創立70年
雲仙普賢岳災害から30年
再建から25年

花は咲いた

院長 高城 昭紀



この度、長崎県から「県民表彰」(教育文化功労者)を受けました。
民間人は80才にならないと表彰を受ける事ができません。やっといただくことができ嬉しいです。



院長先生の県民表彰(教育文化)をお祝い申し上げます

高城病院70周年・移転25周年記念に寄せて



この度、教育文化の分野の目覚ましい貢献により県民表彰を、当院院長高城昭紀先生が受賞されました。職員一同、心よりお祝い申し上げます。

院長先生は教育文化への並々ならぬご功績は無論ですが、それよりもっと広範囲の社会的貢献に尽くしてこられました。即ち医療法人ウイングとしての精神科医療・保健福祉、看護教育や社会福祉、地域住民とのスポーツ交流、雲仙普賢岳噴火災害時の入院患者の避難、危機回避のための病院移転など、個人的には高校の同窓会長や嘱託医、慈善事業団体への参加など、これほど幅の広い、かつ長年月にわたる無私のお仕事・奉仕をされています。

長崎県内に多くの精神科病院がありますが、これほど診療の傍ら活躍されている病院長を他には知りません。かと言って、院長は診療をおろそかにされている訳では決してありません。職員なら誰でも知っているように、24時間、365日、患者さんの変化にはいち早く対応されていますし、身体疾患の危急の際には、周辺の総合病院への紹介など手厚く病病連携を厭うことなく、実行されています。

県の要請があれば措置入院患者の鑑定や入院収容に関しても、NOと言われたことを聞いたこともありません。

職場環境にも触れておきます。医療法人ウイング高城病院の容姿は外観といい、内部といい、アートに溢れています。なだらかな曲線を描く建物の外観は実に見事です。内部の構造の隅々まで、危険回避のための細かい配慮も施されています。病院の最上階からみる普賢岳の勇姿や、眩しいくらいの紺碧の有明海を眺めることができます。このような美しい職場環境で働くことができるのは、本当に幸せなことだと思います。

こうした今日の姿があるのも、病院70周年、移転25周年という歴史が積み重ねた結果です。これは偏に高城院長の指示のもと、病院機能評価という経験も積み重ねつつ、職員が一体となって尽力してきたからに違いありません。

コロナ禍のもと時代は変化してゆきますが、これからも高城院長のもと一人ひとりが精進を怠ることなく、当院の基本理念「患者さんに対する思いやりと奉仕の精神で医療にあたる」ことを一日も忘れることなく、邁進してまいります。

院長先生、今後一層ご健康に留意され、変わらぬご指導を頂きますよう心よりお願い申し上げます。

顧問/廣田典祥

歩み



- 1950 現院長の父、高城省吾が「松竹病院」を継承
- 1957 「高城精神科病院」と改称
- 1963 出口昭典先生 院長就任
- 1966 吉田治正先生 院長就任
- 1972 仁志川種雄先生 院長就任
- 1983 高城昭紀 院長就任
- 1993 普賢岳噴火災害による土石流発生、危機回避のため避難を繰り返す (23回)
- 1995 10.10 高城二三男 常務理事就任
- 1996 2.1 現在地に新築移転「高城病院」に改称
- 1997 4.1 医療法人「ウイング」に改称
- 8.11 ゲートボール場開設
- 9.23 第1回「ウイングカップ」(地域老人クラブの大会を主催、以後毎年行う)
- 1998 4.1 地域生活支援センター「つばさ」開所
福祉ホーム「ウイング」開所
- 2000 9.25 職員福利厚生施設工房「クラフツウイング」開設
- 2001 4.1 入所型授産施設「森のウイング」開所
- 10.12 病院設立 50周年記念パーティー
- 11.1 指定訪問看護ステーション「ウイング大手門」開所
- 2002 9.1 「ストレスクリニックウイング」開設
- 2003 7.1 精神障害居宅介護等事業所「ウイング城南」開所
- 10.27 臨床研修指定病院(協力型)認可
- 2004 7.26 病院機能評価第4バージョン認定
- 2005 10.1 指定訪問介護ステーション「ウイング城南」開所
指定居宅介護支援事業所「ウイング森岳」開所
- 2006 4.1 日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設に認定
- 10.1 地域生活支援センターを、地域生活支援事業・指定相談支援事業「つばさ」に移行
福祉ホームを、指定共同生活援助事業「グループホームウイング」に移行
- 2008 3.1 指定訪問看護ステーション「ウイング大手門」を島原市前浜町へ新築移転。
- 2009 4.1 指定共同生活援助事業「グループホームウイングⅡ」を増築(定員9名 計18名)
- 2009 7.1 病院機能評価 Ver.5 認定
- 2010 12.1 高城歯科クリニック開設
- 2012 4.1 精神科デイケアを開始。
- 2013 4.1 指定共同生活援助事業「グループホームウイングⅢ」を増築(定員6名 計24名)
- 11.1 高城二三男 専務理事就任
- 2014 8.1 病院機能評価 3rdG Ver.1 認定

思い出話

高城病院開院70周年、新築移転25周年記念おめでとうございます。一番思い出すのは普賢岳噴火災害の怖さと23回もの避難をくり返した事です。患者さんの生命安全を第一に有馬武道館にマイクロバスや当院の救急車で患者さんや医療機器と一緒に運びました。1日に2回避難したり連泊することも何回もありました。院長先生は不眠不休で指揮を取られ責任を担っておられ心は如何ばかりだったろうかと推察致します。自らも武道館の床に布団を敷いて患者さんと一緒に休まりました。もちろん医療行為も行われました。移転前はスムーズに移転出来るのかと大変心配しましたが他職種も含めチームワークの良さは目を見張るものがあり、私達の財産となりました。当院の理念である思いやりと奉仕の精神は院長先生自ら行動でお示され本当に頭が下がります。私達は足元に及びませんが心して近づきたいと思います。風光明媚で安全な場所で看護が出来る事を幸せに思います。



看護師/松本敏枝

高城病院70周年・移転25周年おめでとうございます。私事ですが、1982年に入職し早いもので39年高城病院創立70年の歴史の半分以上を携わせて頂き、そして、院長就任後38年もの長い間院長先生と御一緒に医療の中の栄養・給食として大切な仕事を任せて頂き感謝致しております。



栄養科長/松田富実

この長い年月の中には、普賢岳噴火災害による避難や新築、移転など大変な思いをした経験も、今では素晴らしい大切な思い出として残っています。特に避難や移転一緒に行った多くの方が、まだ何人も在職されていて、戦争は知らないですが、そのような皆さんが戦友みたいな気持ちで、長年一緒に日々業務を行っているからこそ、円滑に回しているのだと感謝しています。これからもこのような大切な思い出を後輩たちに引き継ぎ、高城病院のこれからの継続のために、院長先生を皆さんでサポートし、微力ですがお役に立てたら幸いです。

「病院70周年、移転25周年記念」おめでとうございます。私が勤めさせていただいたのは1982年19歳の春でした。右も左も分からないまま勤めさせて頂き、



ヘッドナース/大平剛之

まだ39年しか経っていませんがいろいろなことを経験させて頂きました。普賢岳噴火災害の折り、雨の日は患者さんを23回の避難誘導にあたり、私自身も避難生活をしました。その後、1996年2月1日その日は雪が降りしきる中、新高城病院へ移転。立ち着くまでは何ヶ月もかかりました。それから病院機能評価へ向けて職員一丸となって準備を行い、見事認定を受けました。このように振り返ってみれば勤務をさせて頂きながら准看護師の資格を取得させて頂き、それから看護師の資格まで取得させて頂きました。高城病院の歴史に私が少しでも参加出来たことを光栄に思います。考えてみれば私の人生は高城病院とともに歩んできたと言っても過言ではありません。これからも皆さんに御指導して頂くとともに、精進させて頂きます。



新型コロナウイルスの感染対策として当院では様々な対策を実施しています。

■ 玄関での対策、外来患者待合スペースにおける対応

- ・テーブルにアクリル板を設置。
- ・待合椅子、受付、統括事務部にビニールパーテーションを設置。
- ・椅子のソーシャルディスタンスの確保。(席を一人分あける)
- ・玄関に体温センサーを設置、検温と手の消毒、氏名を書いて入室。

■ 患者対応について

- ・面会については原則禁止とする。(緊急事態宣言発令期間)
- ・外泊・外出は原則禁止。
- ・入院患者の他科受診については、受診先生の病院と打ち合わせしてもらう。
- ・OT、デイケアは院外活動禁止。デイケアは人数制限を設ける。

■ 職員の感染防疫対策

- ・出勤時と昼休憩後1日2回の検診。(2020年4月より)
- ・出勤時職員用出入り口手指消毒の徹底。(2020年2月より)
- ・看護要員すべてに携帯用消毒液を携帯させる。
- ・非病棟スタッフ(事務所スタッフ)も感染(防疫)委員会に所属し委員会に出席する。
- ・委員会開催については、緊急事態宣言時には最低人員を招集して開催し、それ以外は書面にて情報開示する。
- ・院内研修会開催については、新人のみの少人数開催とし、他職員は研修内容を録画したDVDを回覧視聴し周知徹底する。
※緊急事態宣言解除後もソーシャルディスタンスの確保は継続し、委員会・研修会は開催する。
- ・職員の県外出の制限。(2020年3月より)

■ その他

- ・マスク及び消毒液の在庫管理の徹底。(2020年2月より)
- ・診察室ならびに処置室へのパーテーションの設置。
- ・職員が県外へ出る場合、または県外からの人と接触した場合、10日間の自宅待機とした。

編集後記

高城病院70周年・移転25周年、院長先生の県民表彰おめでとうございます。たくさんの歴史が積み重ねられたこの病院で皆様と一緒に働けることを幸せに思います。これから嬉しいこと、苦しいことなどあるとは思いますが、職員一丸となって病院を盛り上げていきましょう。
広報委員/金子 真澄

医療法人ウイング概要

2021年4月1日現在(兼務者は主たる職務で計上)

病院施設基準	<p><基本診療料></p> <p>◇精神病棟入院基本料15対1(2階病棟/72床) ◇精神療養病棟入院料(3階病棟・4階病棟/120床)</p> <p>◇看護配置加算(2階病棟) ◇看護補助加算1(2階病棟) ◇診療録管理体制加算2 ◇重症者加算1 ◇退院調整加算</p>	<p><入院時食事療養費></p> <p>◇入院時食事療養(I)</p>
	<p><特掲診療料></p> <p>◇精神科作業療法 ◇医療保護入院等診療料 ◇薬剤管理指導料</p> <p>◇精神科デイケア・ショートケア</p>	
法人事業所	<p>高城病院(精神科)</p> <p>診療所「ストレスクリニックウイング」</p> <p>指定訪問看護ステーション「ウイング大手門」</p> <p>指定共同生活援助事業「グループホームウイング」</p> <p>歯科「高城歯科クリニック」</p>	<p>総職員数</p> <p>医師15名 歯科医師2名 薬剤師4名 看護師40名 准看護師30名</p> <p>看護補助者24名 作業療法士6名 精神保健福祉士5名</p> <p>臨床検査技師1名 臨床心理師1名 管理栄養士3名 栄養士3名</p> <p>調理師10名 調理員6名 歯科衛生士3名 事務職員22名</p> <p>助手(リハ・歯科)・グループホーム世話人等11名</p> <p>施設課員(営繕・運転・洗濯)16名</p> <p>総数202名</p>

※高城病院のホームページはこちら。

<http://www.takagihp.or.jp/takagihp.htm>



Vol.45

広報 Wing



島原城の梅
撮影:井村葉莉師

広報WING Vol.45 発行:医療法人ウイング高城病院/島原市中野町内1165番地 TEL0957-62-3105 FAX0957-63-7743 2021年4月2日発行



医療法人ウイング 高城病院

高城病院ホームページ/www.takagihp.or.jp
Eメールアドレス/wing@takagihp.or.jp

基本理念

患者さんに対する思いやりと
奉仕の精神で医療にあたる